

平成 22 年 3 月 25 日  
沖縄電力株式会社

## 具志川火力発電所における木質バイオマス混焼の本格運用開始について

当社は地球温暖化対策を最重要課題の一つに位置付け、低炭素社会の実現に向けて積極的に取り組んでおります。

こうした取り組みの一環として、沖縄県内でほとんど有効利用されず焼却処分されていた建設廃材を発電用燃料として利用する研究を平成 17 年 9 月から行ってまいりました。

平成 19 年 6 月から平成 20 年 10 月にかけて具志川火力発電所(石炭火力)で実証試験を行い、燃料として十分利用できることが確認されたことから、具志川火力発電所に木質バイオマス供給設備の建設を進めてまいりました。

本日、木質バイオマス供給設備の建設および試運転が完了し、本格運用を開始いたしましたのでお知らせいたします。

建設廃材を発電用燃料として利用することで、燃料である石炭の消費量を抑制することが可能となり、未利用エネルギーの有効活用および CO<sub>2</sub> 排出量の削減に効果があります。

### 1. 対象設備および混焼率

対象設備：具志川火力発電所 1 号機、2 号機

混焼率：約 3% (重量比)

### 2. 対象木質バイオマス

沖縄県内における建設廃材、剪定木等を原料とした木質ペレット

### 3. 木質バイオマス使用量

約 2 万 t / 年

### 4. CO<sub>2</sub> 削減量等

約 3 万 t - CO<sub>2</sub> / 年

添付資料：木質バイオマス供給設備概要

以 上

## 木質バイオマス供給設備概要

### ○設備概要

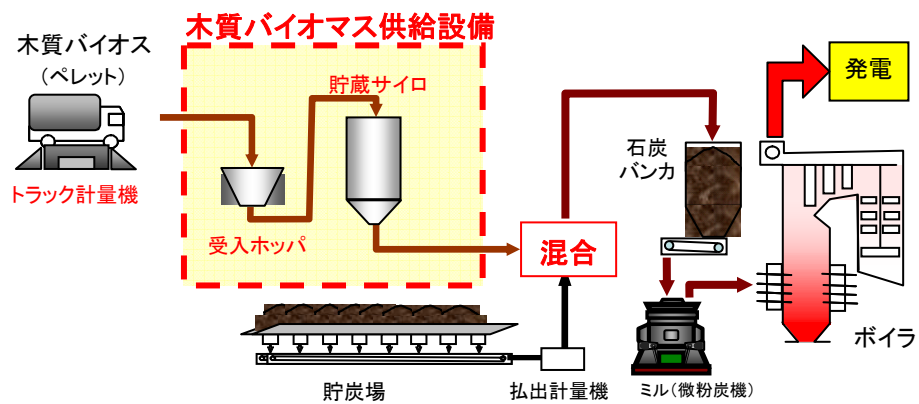
設置場所：具志川火力発電所内

燃料形式：ペレット（原料：木質系建設廃材）

形 式：サイロ貯蔵コンベア供給方式

混合方式：送炭コンベア上混合式

設備概要図



### ○具志川火力発電所の概要

所在地	出力	運転開始年月
沖縄県うるま市 字宇堅657	1号機：156kW	平成6年3月
	2号機：156kW	平成7年3月